

婦団連通信

Fudanren newsletter

第16号

2026年4月1日

日本婦人団体連合会

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-11-9-303

TEL : 03-3401-6147 FAX : 03-5474-5585

URL : <https://fudanren.jp>

憲法をいかし、平和への新たな共同を

高市政権による突然の自己都合解散によって2月8日投票票で行われた総選挙は、自民党単独で3分の2を超える議席を占める結果となり、第2次高市自民維新政権が発足しました。

総選挙を受けて開催されている第221回国会の施政方針演説において、高市首相は、「国民の信任を得た」として、米トランプ政権に追随して平和とくらしを壊す大軍拡、憲法9条改悪、「国家情報会議」の設置と内閣調査室の「国家情報局」への格上げなど「戦争する国づくり」に向かう姿勢をあらわにしました。また、「憲法改正に関し、(中略)国会における発議が早期に実現されることを期待します」と改憲発議にまで踏み込みました。

軍事費拡大ではなく

暮らし優先の予算に

26年度予算案では、軍事費は当初予算で9兆円を初めて超える一方で、OTC類似薬の患者負担増や高齢者の医療費窓口負担増、社会保障給付

の削減などを推し進めようとしています。さらに、高市首相は、選択的夫婦別姓制度実現に背を向け、「旧姓使用の拡大・周知の推進、旧姓の単記検討」を指示しています。

連立与党の維新の会をはじめ、国民民主党や参政党なども軍拡と改憲推進を表明しており、かつてなく危険な政治情勢となっています。

しかし、総選挙後朝日新聞が実施した世論調査によっても、力を入れてほしい政策は物価高対策が最多で

51%に対して、「憲法改正」はわずか5%にとどまっています。国民の要求は、ほとんどの政党が総選挙で公約に掲げた消費税の減税であり、物価高騰を上回る大幅賃上げの実現、社会保障の充実です。

大軍拡、改憲ストップの 声を上げ続けよう

総選挙後、「戦争する国づくり」や改憲、スパイ防止法の制定検討などに危機感をもった市民と野党との憲法を真ん中にした共同が新たな広がりを見せています。平和、暮らし、ジェンダー平等を壊す大軍拡、改憲ストップの声を上げ続けていきましょう。

キューバ大使が来訪

3月3日、キューバ大使ヒセラ・ガルシアさんが婦団連を来訪されました。1月末にキューバに原油を供給する国々に追加関税を課すように米大統領令が出され、原油供給が遮断され、大規模停電や燃料不足で、国民の生活、医療や教育など社会全体が深刻な状況にあることを話されました。キューバへの支援・連帯の輪を広げましょう。

